

小児ガン病院「ボリヴァール・リッソ」拡充計画

2003年6月3日(火)、サンパウロ州ジュンジャイー市の小児ガン病院「ボリヴァール・リッソ」にて、我が国草の根無償資金協力の機材引渡式が挙行され、同病院を運営する地元 NGO GRENACC のヴェルシー・アンドレオ・ブタロ会長、マリア・ヘジーナ・グッチ・ベンジット事務局長、「ボリヴァール・リッソ」サンドラ・ヘジーナ・ロジエト医療部長、ジョアン・ホドリゴ・デ・ルッカ・フェハズ市議会議長補佐をはじめ、多数の地元関係者や子どもたちが参加し、当館からは佐藤宗一総領事代理他が出席しました。

式典においてロジエト医療部長は、同病院の新築以降、対応能力が60%増加したこと、ブタロ会長からは、これまでの努力により、地元の患者の遠距離通院の苦しみが軽減されたこと、また今後の手術、集中治療、入院等の施設増設に向けての展望が述べられ、両者ともに日本政府に対し深い感謝の意を表明しました。

これを受けて佐藤総領事代理は、長年小児ガンの問題に熱心に取り組んできた GRENACC が、多くの人々の参加によってこぎつけた夢の実現に、ささやかなりとも協力できたことは光栄です、との挨拶を行いました。

このほか、スタッフや子どもたちがその場で作った、生花による曼陀羅を傍らに、地元の青少年によるフルート、ギター演奏、沖縄舞踊が披露されたり、患者を代表する数名の子どもたちが、日本語を使って感謝の言葉を述べるなど、心温まる式典となりました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「小児ガン病院「ボリヴァール・リッソ」拡充計画」

被供与団体：GRENACC (= Grupo em Defesa da Crianca com Cancer / ガンの子ども保護グループ)

契約署名日：平成15年1月14日

供与限度額：33,509米ドル

案件概要：GRENACC は、ガンや血液疾患にかかった子どもたちの治療、予防、早期発見、尊厳維持を始め、患者の家族へのサポート、コミュニティへの啓発活動などを行う団体です。従来の診療所の対応能力が限界に来ていたため、昨年10月に「ボリヴァール・リッソ」病院を新築しました。

今般の協力は、医療機材、患者や家族向け教育のための視聴覚機材を提供することにより、同病院の対応能力の増強計画を支援するためのものです。



供与機材の一部である移動保育器の除幕を行うブタロ会長（左）と佐藤総領事代理（右）



当館の協力に対し、日本語を使ったカードで謝意を示す患者代表の子どもたち



病院スタッフ、ボランティア、子どもたちが共同で作った、生花の曼陀羅